

やりたいことが出来た専門校

上田 和輝(山形県立山形職業能力開発専門校修生)

私は現在、山形トヨタで整備士として働いています。今回大学をやめた理由と専門校で学んだことということで、まずは大学をやめた理由から書こうと思います。

そもそも、私が大学に進学した理由ですが、どうしても大学に行きたい、大学に行ったら何かを学びたいというような理由は特にありませんでした。たまたま、進学校に進学したため大学に行く以外の選択肢はありませんでしたし、他に何かしたいことがあるわけでもありませんでした。大学に進学すれば何かやりたい事が見つかるという一般的な大義名分と、周囲の普通大学には進学するだろうという雰囲気、とりあえず大学に入れようだし、入るかという気持ちで大学に進学しました。そんな理由で大学に進学したので、今考えてみれば一切勉強をしようなんて気持ちはありませんでした。それ以外にも、普通はサークルに入って友達を作って遊んだりしようとするのかもしれませんが、サークルというものに興味もありませんでしたし、高校時代から部活など大人数で何かをするというのが好きではなかったので大学に進学してもそういうことはしませんでした。そんな状況なので、大学はおもしろくなく行かなくなり半年でやめました。

なので、大学をやめた理由は単純におもしろくないからです。また、目的もなくダラダラと通うのも両親に迷惑がかかると思い、大学に進学すれば何かやりたい事が見つかるというのも見つからず、大学生活が私には合わなかったというのも理由です。今考えれば、私に大学生活を楽しもうという気持ちも、努力もなかったということになると思います。それは、それよりもバイト先の付き合いや、地元の友達と遊ぶ方が楽しかったからだと思います。

その後、大学時代に始めたバイトをしながら一年くらい遊んで過ごしましたが、このままフリーターで生きていくわけにもいかないしちゃんと仕事をしなければと思い、興味があった車の仕事をしたいということで整備士の専門校に入りました。

専門校では、やはり自分の興味があることなので勉強もおもしろいですし、当時は実習で車を触れるということが楽しかったと思います。また、先生にも恵まれ実習で自分の車を修理するという他では出来ないようなことも出来ました。その他にも、先生が実際に整備士として働いてきた人だったので、働いていて楽しかったことや、嫌だったことなどを実体験を交えながら教えてもらうことが出来ました。そういうことは実際に働いたことがある人にしかわからないことだと思うので、大学では学ぶことは出来なかったと思います。また、整備士は技術職なので実際に整備してきた人にしかわからないような技術も教えてもらえました。

専門校で学んだそういったことは、整備士として働き始めて五年になりますが、意外と役に立つことがありました。考え方は人それぞれだと思いますが、大学で目的もなく自分の役に立つかわからないようなことを学ぶよりも、私個人としてはずっと良かったと思います。そういった意味で、やりたいことが出来た専門校だったと思います。

働き始めて五年間経ちましたが、いろいろ理不尽に感じることや、嫌なことがありましたが、辞めることなく頑張っています。また、これからも頑張っていこうと思います。というのも、やはり専門校で実際に働いてきた先生に、技術や知識だけではなく、いろいろな事を教えてもらったおかげだと思います。

結局は、自分が何をしたいか目的があれば、大学でも専門校でも違いはないと思います。

また、目的がなくても当人が今自分が置かれている状況をどう思うかで、なにかを学ぶか、その生活、状況を楽しむかということが変わってくるのではないかと思います。